
戦場のメリークルシミマス

koyak

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

戦場のメリークルシミマス

【Nコード】

N7311Z

【作者名】

koyak

【あらすじ】

サーバーの管理者に休みやイベントは関係ありません。

今年のクリスマスイブも、とあるサーバーームには必死に障害と格闘する技術者の姿がありました。

(前書き)

坂本龍一あの曲が、大好きです。

新着作品にクリスマス系のタイトルが並んでいるのを見て、ふと思いついた話。

クリスマスとかそんなの関係なく、機械は律義に異常をお知らせしてきやがります。

いや、知らせてくれなきゃそれはそれで困るんですけど。

「よ、よし。とりあえず ping は通った……」

データベースから顧客の購買情報を取得・集計して処理する夜間バッチ処理が通信エラーでダウンしている、という電話で叩き起こされたのが深夜の惨事、いや、三時。

何があるうとも休日中、バッチの再実行も考えると今日中には原因究明と復旧を行う必要があったのだが、何とかサーバーとの接続復活を（最低限のレベルでだけ）確認するところまで辿り着くことができた。

後は他にエラーはないか、バッチを実行し直しても問題ないか、何か破損している情報はないかなどを確認し、上司や顧客への報告書をまとめれば作業は終わる。はず。

「もう夕方か。ちょっと甘いものが欲しいな。チョコでも買いに行くか」

休憩がてら、外に出て最寄りのコンビニへと向かう。

街はどこもかしこも赤と白の華やかな飾り付けで彩られていた。

そういえば今日はクリスマススイブだったっけ、と他人事のように呟く。

実際、他人事だ。

コンビニの中に入ると、こちらまやはり街中と同様、クリスマス色に染まっていた。

商品の配置はいつもと少し違う、クリスマス仕様になっており、浮き立った様子の客で賑わっている。

「あ………饅頭でいいや。饅頭饅頭………ない。もう煎餅でいいや。

「甘くねーけど」

買い物を済ませ、セキュリティのカードを通してサーバールームへ戻ってきた瞬間、嫌な予感が走った。恐る恐るモニタを確認すると、エラーメッセージのためにかかっていたスクリーンが異常検知のメッセージを吐き出していることに気づく。

「おいおい、まだ何かあるってのかよ」

戦いは、もう少し続くようだ。

(後書き)

ご覧いただき、ありがとうございます。

よいクリスマスをお過ごし下さい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7311z/>

戦場のメリークルシミマス

2011年12月24日08時49分発行